

超短編 20 周年記念イベント

2019.04.06



プログラム

- 15 : 00 第 1 部：超短編 20 年のあゆみ
松本楽志・峯岸可弥・たなかなつみ・タカスギシントロ
- 16 : 10 休憩（10 分）
- 16 : 20 第 2 部：超短編はいかにして歌詞になったか
ゲスト シライシケン（Scrum Syrup）
- 17 : 00 第 3 部：サウンド超短編優秀作品発表
- 17 : 30 イベント終了

第1部「超短編のあゆみ」

超短編年表

1996

本間祐、パ斯卡ル短編文学新人賞優秀賞受賞

1997

「ほんまゆうのあたま」スタート

1998

10月 ASAHI ネットにて「超々短編広場」スタート

1999

10月 メルマガ「Micro-story Japan」創刊

2000

5月 メーリングリスト内でテーマ競作『架空のでぶ』（互選なし）

6月 メーリングリスト内競作第1回『踊りたいほどベルボトム』募集開始

8月 『Anima Solaris』第3号「超短編特集！」

10月 点字物語「天の尺2000」東京タワー編

2001

1月 「500文字の心臓」メルマガ第1号発行、第1回『そこにいる』募集開始

3月 編集の国 ISIS 一日一編「超短編

PUB モンテローソ」スタート

4月 産経新聞『TANTAN ポップ』（本間祐のエッセイ+超短編）スタート

7月 『大阪人』8月号「超短編カレンダー」スタート

2002

1月 超短編朗読会 at 東京江古田「砂時計」

4月 産経新聞「超短編レッスン」スタート『超短編 S E N G E N』（本間祐／滯標）

イベント『超短編 S E N G E N・2002』at FUKUGAN PLUS

5月 雑誌『ダ・ヴィンチ』「超短編特集」『超短編マッチ箱 Vol.1』発行

9月 『超短編アンソロジー』（本間祐編／ちくま文庫）

10月 イベント「超短編パーティー」at 江古田

11月 第1回文学フリマに「超短編マッチ箱」参加

「超々短編広場」最終更新

2004

11月 『お見世出し』（森山東／角川ホラー文庫）

2006

10月 点字ものがたり「天の尺2006」夕焼けだんだん編

2007

2月 『てのひら怪談 ビーケーワン怪談大賞傑作選 1』（加門七海・福澤徹三・東

2008

6月 『超短編の世界』 vol.1 (タカスギシンタロ監修／創英社)

7月 『未来妖怪』(井上雅彦監修／光文社文庫)

12月 第28回西荻ブックマーク「超短編の世界」

2009

9月 『超短編の世界』 vol.2 (タカスギシンタロ監修／創英社)

2011

2月 『超短編の世界』 vol.3 (タカスギシンタロ・松本楽志・たなかみつみ監修／創英社)

5月 イベント「超短編マッチ箱 beco cafe 出張編」

6月 『シンクロニカル壺號 過春に薫る、風の便り』加楽幽明編／闇掬)

9月 『月を抱いて眠る』(NOIFproject)

12月 『物語のルミナリエ』(井上雅彦監修／光文社文庫)

2012

1月 イベント「可能性の文学の歩き方」ゲスト西崎憲

6月 フリーペーパー『コトりの宮殿』創刊

10月 イベント「転んでもただは起きない“人生焼け太り”創作術」ゲスト：瀧川

2013

3月 イベント「SFファン交流会——SFと超短編」ゲスト：タカスギシンタロ、松本楽志、小野塚力

『七角錐結晶体』(松岡永子編)

11月 『djmv01』(峯岸可弥編)

2014

1月 イベント「玉川重機さんと語る西荻ブックガイド」

5月 『言之葉乃標本箱 其之壺 when the fairy tales fall』(加楽幽明編／闇掬)

8月 イベント「栗田ひづるさんと語る——声に出して読みたいものがたり——」

10月 イベント「アイルランド文学と超短編」ゲスト：鈴木暁世

2015

1月 『ピアノ』(タカスギシンタロ／うのけボックス)

2月 イベント「弟切千隼さんとめぐる幻想植物ランド」

5月 超短編まとめサイト「超短編の折り詰め(仮)」スタート

『俳句と超短編 vol.1』(櫛木千尋編)

『7文字でつながる連作超短編を書こう！2015』(秋山真琴・加楽幽明編／雲上回廊+闇掬)

7月 イベント「講談と超短編」ゲスト：神田真紅

10月 イベント「能と超短編」ゲスト：
辰巳大二郎

2018

11月 イベント「短歌・活版・パンドラ
の箱」ゲスト：石川美南・橋目侑季（山
羊の木）

3月 『超短編を読む、書く - process #2』（佐
多椋編／Script.）

2019

2016

4月 イベント「広場・心臓・マッチ箱」

3月 『不思議の国のアリスを超短編とし
て読む』（小野塚力／うのけボックス）

4月 イベント「秘密基地からハッシ
ン！——ドードー鳥と超短編——」ゲス
ト：川端裕人

5月 『アウトライン vol.1』（佐多椋編／
script.）

8月 『幻色キノコ図鑑』（松本楽志・タ
カスギシントロ／うのけボックス）

11月 イベント「声に出して読みたい
うのけボックス」ゲスト：栗田ひづる
『アイノマジナイ』（氷砂糖）

2017

3月 『超短編を読む、書く - process
#1』（佐多椋編／Script.）

4月 イベント「上から下からどう
ぞ！——回文と超短編——」ゲスト：三
田たたみ

9月 『夢みる人形の王国』（たなかなつ
み／うのけボックス）

10月 日刊デジタルクリエイターズ「エ
ッセー物語」スタート

11月 『超短編としての五十一話集』（小
野塚力／うのけボックス）

第2部「歌詞になった超短編」

○ことり（超短編）（歌詞）

ことりいつもえだにひとり
あるひえだにめどりやどり
かなりふとりはねはみどり
ことりほれてえだにおどり
されどめどりつんときどり
されどことりりんとおどり
されどめどりとんできえた

ことりないてないてひとり
ことりないてえだをぼとり
ことりおちたみずのほとり
めどりもどりことりみとり
ことりゆめでめどりめとり
ことりゆめでおどりおどり
ことりゆめでうたうことり

○新聞（超短編）

真っ黒な新聞には過去に起こったすべての
の事件が載っている。

真っ白な新聞にはこれから起こるすべての
の事件が載っている。



○Newspaper（歌詞）

真っ黒な新聞には過去に起こったすべての
の事件が

真っ白な新聞にはこれから起こるすべての
の事件が載る

You see, there are so many things.

Run bike run!

デンコウセッカノ最新版

Go bike go! 送る号外！

One by one!

カンゼンムケツノ最終版

Go bike go! 送る号外！

政治欄 経済欄 求人欄

News！

サッカー欄 TV欄

ワレ叫ばん！

There is anything that you want to see...

ミュータントのクラスが現る。まるでク
チバシのついた暗闇。

台風は富士山につまずき転んでそのまま
高速ドライブ。

ミス・チョークが殺人現場で「アタシの
スタイルもちょっといいわよ？」

九回裏二死満塁のサヨナラ大豊満ガー
ル！

○花の種（超短編）

この小さな兵器を仕掛けられるだけ仕
掛けてやれ。



○花の種（歌詞）

Let's get more flower seeds!

ペットショップのオリでひざを抱える
モンスター／ペットショップのウ

ラでカネを数えるブリーダー

War, Thief, Violence, Murder,

Kidnapping and Fight.

Let's get flower seeds.

ジャンクショップの森でバッグを捨て
たりトルガール／ジャンクショッ
プの森で赤ん坊捨てたりトルガール

Message / 兵士に君は告げる / 銃は
いらぬ / なびく髪を銃身にからませ
て

この小さな小さな兵器

ペットショップのオリを抜け出して
きたモンスター／ジャンクショッ
プの森で赤ん坊を抱くモンスター

Message / 兵士に君は告げる / 銃は
いらぬ / 一輪の花を銃口に挿し入
れる

この小さな兵器を / この小さな花の
種を

しかけられるだけしかけてやれ

○ダイヤモンド（超短編）

ガラスよ。意気地無しよ。脆弱さを売り物に
する卑怯者、うそ泣きの売女よ。すり傷一つに
金切り声を上げて崩れ落ちるがいい。不吉な廃
虚と凋落のシンボルよ。私の前からすぐに立ち
去れ。

ルビーよ、サファイアよ。色つきの石ころよ。
不純物の寄せ集め、甘ったるいゼリービーンズ
よ。豚の指を飾るお前たちの色は私には見えな
い。豚の糞がこびりついているから。私の前か
らすぐに立ち去れ。

ジルコニアよ。品のないイミテーションよ。
お前らの硬さがいかほどのものなのか。私にぶ
つかり、そして砕けよ。ニセモノ、まがい物、
インチキ手品よ。白痴的な無神経、虚飾よ。私
の前からすぐに立ち去れ。

宝石箱を汚すすべての塵芥、ゴミ屑ども。す
べての硬度ときらめきにおいて二流なるものど
もよ。お前らと私とを箱に入れ、しかるべき回
数揺すぶった後、微塵の中に輝く唯一の光を見
るがよい。私を傷つけるもの、私に毛ほどでも
恐怖心を抱かせるもの、私の孤独を打ち破るも
のはいないのか。誰か！ 私を砕くもの、現れ
よ。



○DIAMOND（歌詞）

ルビー サファイア 色つきの石ころ
不純物の寄せ集めゼリービーンズ
ジルコニア 品のないイミテーション
私にぶつかりそして砕けよ

ニセ物 まがい物 インチキ手品
豚の指を飾るお前たち

宝石箱汚す全てのゴミ屑ども

私の前からすぐに立ち去れ

塔はどんどんと高くなる

地面はだんだん狭くなる

D.I.A.M.O.N.D

埋葬・業因・アンダーグラウンド

溶岩の海に溺れ

大脳は完全溶解 十万気圧プレス

勇敢に挑んで 瞬間にこわれても

運命を笑って 強く Hard gem

勇敢に挑んで 瞬間にこわれても

運命を笑って 強く

Hardest one

Hardness ten

Hard gem

勇敢に挑んで 瞬間にこわれても

光放って 強く Hard gem

○塔（超短編）

星を目指して塔を建てた

地面を切っては積み上げた

塔はどんどん高くなる

地面はだんだん狭くなる

いよいよ星に手が届く

その時ぐらりとバランスが崩れ

世界はぐるりと入れ替わる

塔は深い井戸になる

世界は井戸に落ちてちて

底には星が光ってる



○タワー（歌詞）

星を目指して塔を建てた

地面を切っては積み上げた

朝に墜ちたナイト・バード

羽根をワイヤで結わかれ

目に見えないシステム

柔軟思想を許さないプレッシャー

いよいよ星に手が届く

その時ぐらりとバランスが崩れ

世界はぐるりと入れ替わる

塔は深い井戸になる

世界は井戸に落ちてちて

底には星が光ってる

だれも一切聴いたことないうた

あるはずないジャンプ・アンド・ダイブ

だれも実際気づかないリアル・マジック

ずっと探してる

朝に墜ちたナイト・バード

羽根をワイヤで結わかれても

負けず飛んだナイト・バード

柔軟思想で歌うニュー・ソングス

Oh, なにも一切どうだっていいこと

あられもないジャンプ・アンド・ダイブ

塔はいったいどこに届くんだ？

星空アバレダス

○ピアノ（超短編）

荒れ地に一台のピアノがあって、鍵盤を叩

いたが、何の音もしない。

しない

月面の出来事。

これぞエレクトリック・ベース
指踊れどなんにも聞こえない

↓

○PIANO (歌詞)

My Very Eager Mother Just Served Us

マイク手に持って見る世界 静寂に静止す
る視界
叫び祈り祈りそんで叫ぶ

Nine Pizzas.

水金地火木土天海 (冥) ……最近シケモ
ク吸ってる？

12, 11, 10, 9 ... ignition sequence start
6, 5, 4, 3, 2, 1, 0 ... Lift off! We have a
liftoff!

でもなんの音もしやしない 誰の声も聞こ
えない
超絶の音声心にただ響く

大轟音ロケットスタート

荒地にひとり ピアノ・オン・ステージ
夢か本当か それは月面の出来事

ショッキング・ピンクの耐Gスーツ

エンプティータンク Kiss good bye

キャンディー！ さいなら第三惑星

Life goes on ロケットスタート

相場の半額耐Gスーツ

エンプティータンク 入金OK？

キャンディー！ さいなら第三惑星

荒地にとんでもないビッグ・ステージ

誘惑のピアノ鍵盤叩いても音はしない

夢が夢見るイメージ

ドラム叩いてもシンバルの音も聞こえや
しない

空に青い光

派手な照明ステージ

勇壮にネック立てギターこすっても音は

070224

花の種（聞き取り）

れっげっがっめっびー

こぼーりおわーいおーのぶっさすロン
リーガール

レッツゴーりおわーいおーのぶっさすロ
ンリーガール

めっそっめっつ

ごーうおーそーまいとスタッドレスタイ
ヤ

ごーうおーそーまいれっげっこっめっ

れっつこっめっうえーい

070225

花の種

戦争。

捨て子

暴力。

コミュニケーションの欠落。

れっげっがっめっびー

Let's get many more seeds.

ガイコツの胸を通り抜けてく紙ヒコーキ
墓場のひとり遊びはさびしそう

■花の種

Let's get many more seeds!

禁猟区の森で新種見つけたブリーダー

ペットショップのオリで叫ぶ七色モンス
ター

Let's get more seeds!

War,Thief,Violence,Murder,Kidnapping
and Fight.

War,Thief,Violence,Murder…

Let's get get get get get get more seeds.

ゴミ箱の迷宮。包み残したロンリーガ
ール

ゴミ箱の迷宮。包み泣きだすロンリー
ナイト

Let's get more seeds.

War,Thief,Violence,Murder,Kidnapping
and Fight.

War,Thief,Violence,Murder…on the
street.

A messenger is running through the
night.

やるときじゃない？

銃もないナイフもない

You don't have anything but……

この小さな小さな兵器

禁猟区の森で姿を消したブリーダー
ペットショップのオリを破り逃げ出すモ
ンスター

Let's get more seeds.

070228	銃身に巻きつける	銃はいらない	銃身にからませて
広場を占拠する兵士の列		彼女はなびく髪	
君はその一人に近づく	兵士のひとりにキスをして	銃身に巻きつける	彼女はなびく髪を銃身にからませて
撃たないで撃たないで			兵士たちに告げる
君はスカーフを外し	リボンほどく	兵士諸君、きみたちに銃	
銃身に巻きつける	なびいてる長い髪	はない	銃はいらない
	銃身に巻きつける	弾もいらない	
広場を埋める兵士のひとりに	広場の兵士に君は近づき	銃よりも強いものがある	広場の兵士に君は告げる
君は近づいてく	リボンほどく	君は告げる	銃はいらない
一輪の花を抜いて	なびいてる長い髪		赤い花を
銃身に差し入れる	銃身に巻きつける	広場の兵士に君は告げる	銃身に挿しながら
		銃はいらない	
広場を占拠する兵士のひとりに	広場の兵士に君は近づき	なびく髪を	広場の兵士に君は告げる
君は近づいて	リボンほどく	銃身に巻きつけて	銃はいらない
首のスカーフ引き抜いて	なびく髪を		一輪の花を
銃身に巻きつける	銃身に巻きつける	広場の兵士に彼女は告げる	銃身に挿し入れる
	広場の兵士に君はささやく	銃はいらない	君は広場の兵士にキスして
広場の兵士に君はささやく	く	なびく髪を	リボンほどく
	銃を捨てて！	銃身に巻きつけて	長い髪を
「銃じゃ変えられない」	そしてなびく髪を		銃身に巻きつける
首のスカーフ引き抜いて	銃身に巻きつける	広場の兵士に君は告げる	
銃身に巻きつける		銃はいらない	*
	広場の兵士に君はささやく	なびく髪を	広場の兵士に君は告げる
広場の兵士に君はささやく	く	銃身にからませて	銃はいらない
	銃はいらない		一輪の花を
「撃たないで」	そしてなびく髪を	広場の兵士に彼女は告げる	銃口に挿し入れる
髪のリボン引き抜いて	銃身に巻きつける	る	
銃身に巻きつける		銃はいらない	
	兵士にささやく	なびく髪を	
兵士のひとりにキスをして	銃はいらない	銃身にからませて	
	そしてなびく髪を		
髪をほどく	銃身に巻きつける	兵士たちに彼女は告げる	
なびいてる長いリボン		銃はいらない	
銃身に巻きつける	兵士にささやく	なびく髪を	
	銃はいらない	銃身にからませて	
兵士のひとりにキスをして	弾もいらない		
		彼女は兵士たちに告げる	
リボンほどく	あなたには武器があるから	銃はいらない	
なびいてる長い髪		なびく髪を	

柔らかそうな、真っ白な、小さな球体。ふわふわ、フワフワと浮遊する。出来立てホヤホヤです。

ぼーんぽぽん。ぼーんぽぽん。あちこちで音を立てて現れる。それは、直径7mmほどのドクロの球体。白い肌。ほんのりピンク色に染まった頬。顔半分を占める大きなお口。キレイな歯並びですね。

ぼーんぽぽん。ぼーんぽぽん。ぼーんぽぽん。ぼーんぽぽん。ふえる。ふえる。どんどん増える。ぼーんぽぽん。ぼーんぽぽん。まだまだ増える。どこまで増える？

ぶびっ。ぶびびび、ぶびびび。初オナラ。目を細めニカッと笑う。あちこちで、ニカッと笑う。

ぼーんぽぽん。ぼーんぽぽん。まだまだふえる。ぼーんぽぽん。ぼーんぽぽん。ぼーんぽぽん。

それではお聞きください。デイモンズ・シーモアで『天国への階段』。

10 コントラプункト はやみかつとし

音の個体発生と音の系統発生と音の個体発生と音の系統発生と音の個体発生。音は個体発生し系統発生する。音の個体発生は系統発生を繰り返す。

音は発生途上で分岐する。分岐して元の音とは異なる変化を繰り返す。互いに異なる音は互いに異なる個体発生を重ね、互いに異なる系統が形づくられていく。系統のかけ離れた異なる音同士はしかし無関係ではなく、いかなる経過をたどろうともかれらは互いにありえたかもしれない仮定の、可能性のかたちである。

系統の異なる音はそれぞれ系統を超えて口承され、音は固形化した構造物に結晶する。個である。

11 告知 松岡永子

今夕。月が昇ったら、この地の新しい主が決まる。

主のいない地は荒むものだ。杜ならば枯れる。沢ならば

淀む。樹々は倒れ草は伏した。鳥は飛ばず、虫の音も絶えた。命は剥がれ落ち土へと還ってゆく。

けれどこの地は不変である。

地の底には、生きているのかどうか区別もつかぬ地下ケーブルが、本も末も分からず纏れ絡み合っている。室外機の風はダイナモのうめき声を断続的に運んでくる。イルミネーションの花は針金の枝先にひっきりなしに咲き続ける。

古びて剥がれ落ち、千切れて散り敷くプラスチック片は、そのまま堆く積もり、けれど決して腐ることはない。すべてのものはや土には返らぬ。

なにもものも死なぬ地ではなにもものも生まれることはない。この地は永劫である。

永劫に止まったこの世界にふさわしい主が間もなく決まる。

ペットボトル、ポリタンク、ハンバーガーの容器……海を漂っていたものたちが浜辺へと打ちあげられる。満ち潮が川を押し返すとき、この地に新しい主が顕れる。

12 球体 9げんせい

ぼん！と音が鳴る。空中に現れた小さな球体。ポン！と音が鳴る。

かっているのか。どうしてこんなことをしているのか。疑問が足首を掴み、やめると叫ぶ。抗って歩き続けるが、動きは緩慢になっていった。

遂に立ち止まりそうになったその時、視界は一瞬にして陽光が差し込む雪原に戻った。嘘のように身体は軽くなり、再度、歩き始める。だが、予感既に意識のなかに巢食っていた。また雪が降り、光が瞬いたら、もう歩けないだろう。三たび晴天になった時には、もはや動くことのない身体が雪原に横たわっている。

8 素敵なクッキング タキガワ

いい香りのする野菜は、こうしてまとめて糸でしばっておきましょう。端切れで大丈夫ですよ。くさみをとるために使います。

大きなお鍋にお水をたっぷり。下ゆでしてから水洗いしたすじ肉の部分は、またお水から煮ていきます。最初は中火で、沸騰してきたら火を弱めてください。茶色いアクが浮いてきたら丁寧にすくいます。

こうして一昼夜、たまにお水を足しながらゆっくりと火にかけてものがこちらです。黄金色に透き通っているでしょう？ 美しいわね。静かに濾したら、お塩で味を

調べます。

あら、忘れるところだった。こちらは素揚げしておいた人魚の鱗です。ふふ、そう。余すところなくいただくのがテーマですもの。鱗もスープの浮き実に使います。いいアクセントになりますね。

このスープには人魚の栄養がすべて詰まっていますから、だしとして普段のお料理に使ってもいいんですよ。

それでは、今週最後になる明日の放送は「人魚のテール肉のソテー」です。ごきげんよう。

9 曲解 加楽幽明

これからお聞きいただくのは、先月、二十八歳の若さで天逝した作曲家家ディモンズ・シーモア氏が遺書と共に残したと云われている曲になります。彼は自身がヒトではなくAーだと知ったことに絶望し、自らの機能を遮断したというのはすっかり有名な話ですよ。これからお聞きいただく楽曲には様々な逸話があります。何でも彼は遺書の中に、「私と同じ気持ち但至少でもあるものは、この曲を聴くと天国に旅立つことができるだろう」と書いているらしいんですよ。要は私たちが言うところの機能停止に陥る、といったところでしょうか。或いは聞いたものを曲の一部へと書き換えてしまつたのでしょうか。私もこれを流すにあたって、今からどきどきしています、おっと、この表現は少し人間っぽいかな。

りよーかい。じゃあ、と背中の中を相棒を降ろす。
……と、その前に深呼吸。

5 BEATS 胡乱舎猫支店

つながりを求めてお互いを差し出す。

前にそうしたように。ほんとうに遠く遠くとおくまえに。

何処かが此処になりここがどこかになる。

繰り返しくりかえし。

どこでも無くなったどこかで。

重なり合って交わって溶け合って。

それでも

ひとつにはなれないから

微笑みをかわす。

6 明けない夜 空虹桜

もちろん比喩。

隣の芝生すら枯れきる、完璧に平等な絶望は、人をいっそ

穏やかにした。世界中が「穏やか」に穏やかな驚きを示し、

同時に納得もした。みんな諦めていた。覆水は盆に返れなかつ

た。

宗教を問わず、都市も社会も佳く死ぬ方法を模索した。痛みから逃れ、苦しみから逃れ、嫉妬から逃れることが義務であり法だった。結果、人は人にやさしくなった。諦めこそが幸福だった。死を受け入れて、死を克服した。そんな気になった。

どうせみんな死んでしまう。どんな心臓も、いつか止まる。都市も社会も。地球も。宇宙も。止まる。なおのこと踊れる限り踊る。楽しく生きる。ちゃんと死ぬ。等間隔に打ち付ける軌に任せ、真っ暗な夜を踊り明かす。

7 ITERATE 佐多椋

晴天のなか、雪原を歩いてきた。どこに向かっているのか、何のために歩いているのか。理由はとうに、意識の奥底に埋もれてしまった。脚を前に出せば、進むことができる。それだけをよすがにして、身体を動かしていた。

やがて、陽光は雲に遮られ、横殴りの雪が降り始めた。歩きづらくはなったが、脚を動かせば進む。それが確かであれば、行うべきことは変わらない。速度こそ遅くなったが、なにも揺らぐことなく歩き続けた。

やがて、ずっと相似だった視界に変化が起こる。ちかちかと点滅するもの……ひかり……音が意味を導く。光が瞬いていた。なぜか、それを認識した瞬間、全身に震えるような焦りが走った。どこへ向

いない。あるいは意識すら既に無いかもしれない。

ただ、自律型デバイスであるチタン製の舌だけが、今際の際まで信徒たちに功德を授けんと、ギヤリギヤリと律儀に駆動しているのだった。その声色が多少金属質だとて、些かも帰依の念を損なう者などいない。

そして、その舌は生体センサーの機能も有していた。聴衆の生理的变化を感じし、誦経の調子に緩急を加える。それがまた、信徒たちの感情を一層揺さぶった。

感極まった一人の老女が嗚咽を漏らす。それを皮切りに、そこかしこで啜り泣きが聞こえ始めた。

《菩提心の上昇を検知しました。高パフォーマンスモードに移行します》

そして、誦経のBPMが加速する。

ひとびとの祈りがいよいよ涅槃の境地に至った刹那、室内には瑠璃色の光明が溢れ、妙なる香りが立ち込めた。

今まさに、機械仕掛けの阿弥陀仏が来迎する。

4 ONE NIGHT ONLY 胡乱舎猫支店

あの店を復活させます。

そう書かれた紙がなぜか枕元にあった。しかも今日だって？

詰めれば7人のカウンターにテーブルは2人用2つと8人位
ムリくり座れた筈のやつで一杯一杯。でもイベントの時はかな
りの人数が入った謎の広さの店。

色々疑問はあるがライブの後に行ってみるか。もっかい美味し
いの食べたいし。

久しぶりの駅前はずいぶん空っぽだった。封鎖が解除されて1か
月位だしまあそんなもんなかな。

「やあ、来たね」

跡地に着くと発起人——やつぱり、確かいつも奥に居た——
が声を掛けてきた。今日は色んなカードとインクの並んだ台の
向こうに居る。

「好きなを選んで思いの丈を書いてよ。今夜はみんなにかかっ
てるよ」

なんて事急に言われても困るんだが。

「これなんかどう？」

貰った一枚をどうしたもんかとヒラヒラさせて周りを見渡すと
全員が何か書いてる訳じゃ無い。何人かは語りかけたり頬擦り
したりしてる。あれ？あつちで歌ってるのは前に一緒に演った
コだ。

つまりそついうコト？

発起人を見ると無言のままサムズアップ。

サウンド超短編

1 Louder Than War 穂坂コウジ

人間の生み出す騒音の中で、およそ戦争ほどうるさいものはない。「だからこそ」

と、MCは語勢を強める。

「戦争という騒音を、かき消すほどの轟音を！」

かつて銃をギターに持ち替えた者たちと同じく、MCもまた、持ち替える。大砲をバスドラムに、重戦車をスラップベースに、軍靴をファンクに、爆撃機をブレイクビーツに、魚雷をダブに、焼夷弾をガレージに、核弾頭をハードコアに。

阿鼻叫喚を、ツイスト&シャウトに。

「現実を、変えるのではなく。現実を、超えていく」

特大のスピーカーを空に向け、MCは発射する。綺麗事と、夢物語のための、爆発音を超える爆音を。

黒々とした噴煙が、空高くたちのぼる。……否。あれは煙ではない。あれは。

「マイクロフォン！」
轟け。

2 Go to the dogs 五十嵐彪太

犬は悩んでいる。ありったけの語彙を使い、悩みを説明しているのだが、なぜだろう、口から出てくるのは犬の吠える音だけ。

深い孤独と、それについての考察を述べているというのに、これでは誰もわかつちやくれない。あれやこれやと吠えてみるが、思考ばかりがどんどん進み、犬は混乱を極める。

高尚に悩んでいるとも知らず、猫がやってきて、話しかけてくる。猫の話はいつだって、まとまりなく、とりとめもなく、そして話し終わらぬうちに去っていく。

犬と犬の吠え声と犬の思考は乖離して、犬小屋に居ぬか、何処にも居ぬか。

3 往生伝 立花腑楽

人いきれと濃密な祈りの気配が混ざり合い、薄暗い室内は異様に熱っぽい。

大勢の信徒たちに囲まれて、一人の老僧が仰臥していた。入寂を控えた身でありながら、高らかに観無量寿経を誦している。

と言つても、彼の肉体には、誦経に耐える体力など残って